

『私のふるさと 山形』

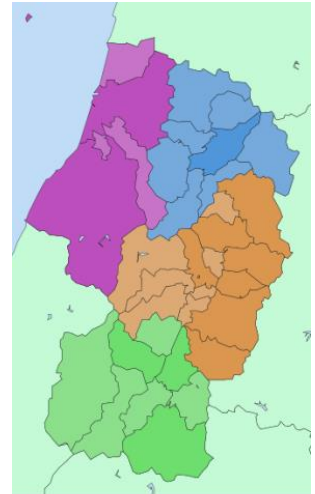
私のふるすとは山形県の中央部山形市の郊外です。

昔は南村山郡と云って純農村地帯でしたが、昭和30年代の町村合併によって山形市に編入されその後の高度経済成長期に市街化が進み、様変わりしました。

奥羽本線（山形新幹線）の山形駅とかみのやま温泉駅の間に蔵王駅という小さな駅があり、そこがふるさとの駅です。新幹線は停まりません。

自分は零細農家の長男に生まれましたが昭和34年に実業高校を卒業して東京に就職したため家督は弟が継いでいます。

山形県は4つの地方に分けられます。北から、日本海に面する**庄内地方**、新庄市を中心とする**最上地方**、内陸部の奥羽山脈の西側に位置し山形市のある**村山地方**、そして福島・新潟に接する**置賜地方**です。それぞれの地方に特性がありますが、私の生まれ育った「村山地方」は歴史の舞台に登場することはあまりなかったようです。村山盆地と云うくらい周りを山に囲まれ、外部との交流も少なく、大きな自然災害にもほとんど遭っていない。一部を除けば積雪も少ない。昔からほとんど自給自足で生活が出来た実りの豊かなところではないかと思っています。名産のサクランボは主に村山地方で栽培されます。そのような自然環境の中で人々は争いを好まず穏やかに共同社会を営んできたと思われる。



同じ山形県でも地方により歴史風土が違っている。日本海に面した

「庄内地方」は、海運で栄えた酒田港など外部の文化を取り入れてきた。庄内平野は豊かな穀倉地帯である。「最上地方」は最上川流域に位置して紅花の栽培も盛んであった。大蔵村など豪雪地帯がある。「置賜地方」は米沢市を中心に米沢上杉藩の歴史で知られる。山地が多く自然環境の厳しい米沢で上杉藩は灌漑や開墾に苦難した。（2009年NHK大河ドラマ、「天地人」で直江兼続の活躍が放送された）。9代藩主上杉治憲（上杉鷹山）の起こした殖産興業の伝統は今も受け継がれている。

スキーと樹氷で有名になった蔵王は実家から車で1時間ほどのところにある。昔は信仰と登山と温泉場の山であった。中学2年生の夏、学校行事で「暁登山」がありました。夕方から歩き始めて夜通しかけて蔵王に登りました。今も鮮明な記憶に残っています。昭和30年代後半、樹氷人気とスキーブームで大勢の観光客がおとずれるようになり、観光開発も進み、蔵王の雰囲気も変わってしまいました。



平成27年1月 小林 健一